



# みどりの里

宇奈月小学校だより  
第 14 号  
平成 30 年 2 月 9 日

目指す子供像 うんとかながえる子 なかよくする子 つよからだの子 きれいなこころの子

黒部市立宇奈月小学校 〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山 205 番地 1  
TEL(0765)65-2288 FAX(0765)65-2800

URL <http://www.tym.ed.jp/sc13/>  
E-mail [unazuki-es@tym.ed.jp](mailto:unazuki-es@tym.ed.jp)

## 郷土の歴史に触れて

校長 四杉 昭康

黒部川開発 100 年の節目にあたり、市では昨年それに関わるシンポジウムや様々なイベント等が開催されました。黒部川の開発は電源開発の歴史とも密接に関わっており、2 学期末には関西電力北陸支社のご協力により、本校職員室前の廊下にて黒部川電源開発に関する写真の展示も行いました。改めて宇奈月町や宇奈月温泉の歴史に触れてみますと、多くの先人の偉業によって、今日の繁栄と発展に結び付いていることに思いを新たにします。

黒部川の開発は、100 年前（大正 6 年）に、東洋アルミニウム株式会社社員の山田胖（やまだ ゆたか）氏による前人未踏の黒部川奥地の電源開発のための実地踏査が始まりであったとされています。また宇奈月温泉は、その電源開発の前進基地として、大正 12 年に上流の黒薙温泉から熱湯が引かれ、温泉郷として発展したことからも、温泉としての歴史は決して古いものではなく、この 1 世紀ほどのものであることが分かります。それまでは、住宅等もなく、住む人のいない未開の地であったそうです。

もっとも黒薙温泉からの引湯は、大正 6 年に完成した「愛本温泉」（現在の音澤駅と烏帽子山荘の中間辺りにあったとされる）が始まりでしたが、湯が全長約 9 km の引湯管を通る間に温度が下がるという問題や台風の被害が重なり、閉湯を余儀なくされました。山田胖氏は、宇奈月温泉の開発・発展には安定した湯の温度と量が確保される必要があることを踏まえ、当時の愛本温泉の場所よりも約 2 km 上流にある現在の宇奈月温泉の地（当時の地名は「桃原」といい、大正 13 年に「宇奈月」に改名）に、新たに開発した引湯管（約 7 km）を黒薙温泉から引き、湯の温度低下の問題を解決したとされています。また同じ頃、黒部鉄道（昭和 18 年に富山地方鉄道に合併）が、宇奈月温泉まで延長され、繁栄の基礎が築かれました。



山田胖氏の胸像（電気記念館横）

ところが、その後昭和 21 年には「宇奈月温泉大火」の災害に見舞われ、ほとんどの建物は焼失してしまいました。現在も、火災の起きた 5 月 21 日は無火災祈願の日とされているそうです。昭和 2 年に建てられた「内山小学校宇奈月分校（分教場）」（現在の新川荘、宇奈月公民館の場所にあった）も焼失し、当時の宇奈月分校に通っていた低学年児童は内山小学校本校に通学した記録が残っています。この大火の後、日本発送電（株）（その後関西電力に継承）からの多額の復興費の協力や当時の内山村挙げての復興計画等により、未曾有の災害を乗り越えて、現在の宇奈月温泉に至っているのです。

弥太蔵発電所（大正 12 年）や柳河原発電所（昭和 2 年）をはじめとして、黒部川の奥地への電源開発は一層進み、昭和 36 年には「くろよん」で知られる黒部川第四発電所（黒部ダムは昭和 38 年完成）の完成へと続いていきます。黒部川開発の歴史は、日本の戦前から戦後の復興期、高度成長期にかけての電力需要の歴史と大きな関わりがあるといえます。

このように、黒部川開発、そして電源開発の歴史の一端を振り返るだけでも、先人が幾多の苦難を乗り越え、英知と努力を結集して、現在の繁栄・発展の礎を築いてきたことが伝わってきます。子供たちには、郷土の歴史や郷土のために尽くした人々の努力に目を向け、人間としての生き方を学ぶ機会になればと思います。

（参考：宇奈月町史、宇奈月町立宇奈月小学校創校百年誌、沿革史、黒部市ホームページ）



## 今年度最後の学習参観・懇談会、誠にありがとうございました！

1月26日（金）は、今年度最後の学習参観日でした。保護者の皆様には多数ご参加いただき、誠にありがとうございました。お子さんの4月からの成長の様子を感じ取っていただけたものと思います。また、学級委員の皆様には、一年間にわたり親子活動や懇談会の運営等にご尽力いただき、心から感謝申し上げます。また、6年生は、宇奈月中学校の入学説明会を同時開催しました。6年生児童は、中学校における学習面や生活面の様子を聞きながら、進学に向けての心構えや準備について理解を深めました。



1年 国語「ものの名まえ」



2年 学活「わたしのたん生」



3年1組 道徳「ぼくが生まれた日」



3年2組 道徳「思いやり」



4年1組 道徳「情報モラル」



4年2組 国語「熟語の意味」



5年 総合「ホテルを守ろう大作戦」



6年 中学校入学説明会



6年 中学校入学説明会

## いつもおいしい給食に感謝して……学校給食週間ふれあい会食

1月24日～31日は、本校の給食週間でした。この週間中には、児童会給食委員会による給食に関する出し物や地元食材の生産者やお店の紹介、そしていつも給食を作ってくださる調理員さん方へ全校で手紙を書いたり、学校栄養職員さんから栄養に関する話を聞いたりしました。

1月31日（水）の最終日の給食では、学校栄養職員の千代さん、調理員の浜屋さん、伊東さん、佐々木さん、岩田さんをランチルームに招待し、代表児童が手紙を読んで渡したり、一緒に会食を楽しんだりしました。

給食を食べられることに心から感謝するとともに、これからも、おいしい給食をよろしくお願いします。



調理員さん方へインタビュー



感謝の手紙プレゼント



## 楽しかった校内スキー練習会！・・・宇奈月温泉スキー場

2月2日（金）、快晴の冬空の下、宇奈月温泉スキー場にて3～6学年のスキー練習会を行いました。積雪にも恵まれ、子供たちは一日たっぷり滑ることができました。本校の校区内にスキー場があるのは大変強みではありますが、スキー場関係者や保護者・地域のボランティアの皆さんのご協力のおかげで実施できたものと思います。

宇奈月温泉スキー場には、上山ペアリフトと3号ペアリフトが1基ずつ設置されています。子供たちは指導者に率いられながら、3号ゲレンデや上部・下部の林道を滑るなどして、スキー技術の向上はもちろん、寒さに負けないたくましい心と体を目指して取り組みました。

スキー場までは、バスや電車、徒歩等の地の利を生かした移動方法をとりました。また、班ごとのスキー指導をはじめとして、子供たちの事故防止、負担軽減のためのトラックや雪上車によるスキー用具の運搬、食堂での配膳等の仕事に、多くの方々のご協力をいただきました。子供たちに怪我もなく、楽しく充実したスキー練習会になったことを嬉しく思います。本当に心から感謝申し上げます。



絶好のコンディションの中、多くの皆さんにご協力いただき、笑顔いっぱいのスキー練習会になりました！



## 薬物・たばこ・酒「ダメ。ゼッタイ。」・・・薬物乱用防止教室より

2月6日(火)、「うなづき薬局」薬剤師の沓掛真彦先生をお招きして、5・6年生を対象に薬物乱用防止教室を実施しました。

子供たちは、印象的な映像や講話を通して、覚醒剤や麻薬、危険ドラッグ等の種類や乱用の恐ろしさを理解しました。また、酒やたばこについて、年齢が法律で定められていることや年齢に達する前に体内に取り入れることが身体にとって非常に有害であるため、健康が損なわれたり、病気になったりする可能性が高いことにも関心を示していました。

質問コーナーでは、「たばこの煙は吸う人よりも、吸う人と同じ部屋にいる人の方が身体に悪いと聞きましたが、本当ですか？」などと、身近な例を捉えて健康被害について学んでいました。

先生には、写真や表などを使って、分かりやすく説明していただきました。ぼくは、麻薬やたばこ、お酒のこわさを知りました。また、麻薬は、持っているだけで捕まってしまうと知って驚きました。友達に誘われても、絶対やりたくないと思いました。たばこも危険なことを知りました。家族は吸っているけど、ぼくは大人になっても吸いません。将来は健康な身体になりたいです。(5年 男子)

話を聞いて、薬物などは身体にもものすごい影響を与える怖いものだと思います。薬物やたばこ、アルコールなどを使わない方がよいということは知っていたけど、今回の学習でとてもよく分かりました。薬物は人相も変えてしまう危険なものです。たばこはガンを起こしたり、口の中が汚くなったりします。アルコールは大人になってから、適度に飲めばよいことも詳しく分かりました。私が大人になったとき、今日学んだことに気を付けて、ずっと健康な身体でいたいです。(6年 女子)



「薬物の恐ろしさは・・・」



聞き入る子供たち



質問コーナー

## その他の学校生活から



2・5年 なわとび大会



1年 体育 「雪遊び」